

シビックがもたらす新次元の爽快体験。 あたかもドライバーとクルマが一体となったような「質の高い軽快感」。



ダイナミック性能は、Hondaが掲げる「Enjoy the Drive」の考え方をベースに、シビックらしさを表現する方向性として「質の高い軽快感」をコンセプトに据え、ドライバーとクルマが一体となったような爽快な走りを目指しました。Honda独自のVTEC TURBOをさらに磨き上げ、アクセルペダルを踏み込んだ瞬間から反応する俊敏なレスポンスを実現。TYPE Rまで想定したプラットフォームによる高い操縦安定性が、優れたライトレース性を提供します。そのうえで、会話や音楽を楽しむ静粛性を追求。ひとりで楽しむスポーティドライブも、家族と過ごすコンフォートドライブも、かつてない爽快感で満たされます。

■爽快な加速フィールとエンジンサウンドの追求

もっとも重視したのは、「ドライバーの感覚にマッチした気持ちのよい走り」を実現することでした。トルクとターボ応答性を向上させたエンジンを活かし、加速フィールとエンジンサウンドが一体となるところを高揚させる気持ちよさを追求。発進から高速道路の追い越しまで、リニアに爽快な走りを提供します。

■走行シーンと加速特性

発進加速(応答性)

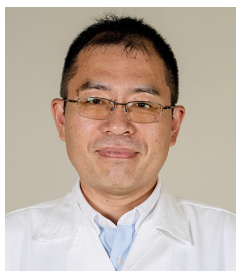
ターボエンジン車特有のタイムラグ(アクセルオンから実際に加速するまでのわずかな時間差)を改善し、アクセルオンの瞬間からすっと加速する優れた応答性を実現。

中間加速(CVT車追従性)

高速道路の渋滞などで、先行車の急な加速にも遅れなくついていけるよう、アクセル踏み込み時の追従性を向上させました。

追い越し加速(CVT車伸び感)

アクセルを踏み込むと車速が気持ちよく伸びてゆくリニアな加速を実現。高速道路の合流や追い越しなどで、スムーズ、かつ、爽快な走りを提供します。



完成車性能テスト担当

山上 智行 やまがみ ともゆき

操作した瞬間に「待ってました」とばかりに応える俊敏性、いわゆる軽やかな走りがHonda車の魅力であり、シビックを操る醍醐味だと思っています。その魅力をどこまで磨き上げることができるか、それが開発の目標でした。走りはもちろん、デザインも視界もエンジン音もすべてがハーモニーとなって「質の高い軽快感」を生み出していますので、ぜひ、その楽しさを体験していただきたいと思います。

